

新潟市青山斎場指定管理者事業計画の総括表

項目	施設工業・新潟斎場サービス共同企業体													
1. 事業者の概要		【代表団体】 施設工業株式会社	【構成団体】 合同会社新潟斎場サービス											
	設立	昭和 56 年 4 月 28 日	平成 18 年 6 月 8 日											
	本社所在地	新潟市中央区親松 8 0 番地 4	新潟市中央区東堀通十二番町 2 8 1 5 番地											
	資本金・従業員数	資本金：2 千万円 ， 従業員数：4 6 名	資本金：91 万円 ， 従業員数：8 名											
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・環境施設の企画，設計及び施工（環境施設：ごみ処理施設，火葬場施設，し尿処理施設，上・下水道施設，排水処理施設，汚泥処理施設・・・等，河川・池水浄化システム，雨水再利用システム） ・環境衛生施設のコンサルタント業務 ・環境衛生施設の各種機械装置，機器の販売及び施工 ・環境衛生施設の維持管理業務，巡回サービス業務 ・環境衛生施設の修繕工事 ・地球環境を守るバイオマスランド業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・斎場の炉前業務 ・斎場の収骨業務 ・斎場内の設備の管理に関する業務 											
斎場管理実績	1 斎場（新潟市青山斎場）	1 斎場（新潟市青山斎場）												
2. 経営理念	<p>【代表団体】 豊かな環境と美しい自然を次世代に伝えるために環境保全技術と新しいエネルギーの利用，そして食の安全という相互作用により循環型社会の実現に向け，「地球に責任を持つ企業」をテーマに県内外の環境保全施設（都市ごみ焼却場，水処理施設，火葬場等）の納入，メンテナンス，運営管理を行っており，各現場からの情報をフィードバックし，その技術を生かして施設の運営管理を致します。</p> <p>【構成団体】 斎場業務を葬儀の一環としてとらえ，葬儀全体の知識，地域の風習を熟知すると共に遺族への心情を理解し，思いやりのあるきめ細やかな配慮を行うことにより，利用者のための斎場づくりを行います。</p>													
3. 事業計画 (1) 運営方針 (2) 施設管理の方策	<p>(1) 運営方針 青山斎場が故人にとって人生の終焉の場であり，遺族にとっては故人を偲びお別れと感謝の気持ちを持って，心静かに思いを馳せる場であることを理解し，心の優しさと思いやり，礼節をもって対応します。 経費の縮減は「むだ，むら，むり」の発見と改善からはじめます。 職員全員がコスト意識をもって身近な気づきの細やかな積み重ねを着実に行うことで縮減につなげます。</p> <p>(2) 施設管理の方策 環境汚染，災害事故防止，作業効率の向上を目標として，施設の構成要素である建築物や火葬炉及び庭園などが機能を十分発揮できるよう予知保全を重視し，専門知識を有した外部委託を含めた運営管理を行います。 施設の維持管理を施設全体と火葬炉の大きく 2 つに分け，施設全体は場長を中心とした事務所と外部委託で管理し，火葬炉は納入メーカーである施設工業の職員が保全を行います。いずれも施設開始から 20 年が経過し経年劣化が見受けられますが，予知保全の実施で施設の延命化を図ります。</p>													
4. 支出計画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">人件費</td> <td style="width: 45%;">336,602,950 円</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td>489,954,315 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務費等</td> <td>4,407,485 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>830,964,750 円（5 年間）</td> <td></td> </tr> </table>		人件費	336,602,950 円		管理費	489,954,315 円		事務費等	4,407,485 円		合計	830,964,750 円（5 年間）	
人件費	336,602,950 円													
管理費	489,954,315 円													
事務費等	4,407,485 円													
合計	830,964,750 円（5 年間）													
5. 組織・人員体制	<p>年間火葬件数の増加により，現状より配置人員を増やすことで今後予想される更なる火葬件数の増加に対応します。また，補助職員を採用することにより，経費の増加を最小限にとどめます。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">受付及び事務</td> <td style="width: 45%;">3 名</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>炉前</td> <td>5 名</td> <td>＋（補助職員）2 名</td> </tr> <tr> <td>炉室</td> <td>4 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14 名</td> <td></td> </tr> </table> <p>場長と事務長の交代により新たな目線での変革を実施します。また，ベテラン事務長による後進の育成と人脈の継承を行います。 事務員は経験豊富な女性職員とし，女性の視点から清潔な空間と細やかな気配りを提供します。 炉前職員は葬儀のレクチャーを受け，地域の葬儀慣習を熟知した正職員が軸となり対応します。 炉室職員は火葬炉納入メーカー社員で機器の取扱，燃焼管理に精通した技術職員とします。 職員は可能な限り正社員を採用し，雇用の促進に繋がります。</p>		受付及び事務	3 名		炉前	5 名	＋（補助職員）2 名	炉室	4 名		合計	14 名	
受付及び事務	3 名													
炉前	5 名	＋（補助職員）2 名												
炉室	4 名													
合計	14 名													
6. 雇用・労働条件	<p>新潟県の最低賃金を満たします。賃金の他，健康保険，介護保険，厚生年金，雇用保険，労災保険，中小企業退職金共済に加入。 労働基準法の定める 1 日 8 時間，1 週間 40 時間を超えて働くことはありません。 労働時間が 6 時間を超える場合は 45 分以上，8 時間を超える場合は 1 時間以上の休憩を取ります。 休日は毎月 8 日間，及び 1 / 1 を休日とし，年間 105 日とします。</p>													
7. 安全確保及び緊急時の対応	<p>【防災について】 中越地震と東日本大地震で自社の火葬炉が被災した経験を生かし，非常時には斎場内に自主防災対策室を設置して利用者の安全確保を最優先とし，更に火葬炉の安全運転に努めます。</p> <p>【緊急時の対応】 事故防止と発生時の対応はマニュアルを基本に迅速に対応します。 事故対策は予防に重点を置き発生を可能な限り抑制します。 安全会議を起ち上げ「ヒヤリ・ハット」の報告書を基に問題点を抽出し職員全員で予防について意見交換と認識の統一を図ります。</p>													
8. 要望・苦情への対応	<p>斎場を利用する遺族からの要望，苦情は利用者の生の声であり，その声を発すること自体大変勇気のいることであり，その内容の一つ一つを真摯に受け止め迅速に誠意をもって対応します。</p> <p>【基本姿勢】 斎場職員一人一人が斎場を代表しているという意識を持って行動します。</p>													
9. 個人情報の取り扱い	<p>個人情報保護に関する内部規定を策定し，個人情報を安全に管理するための体制整備，情報セキュリティ対策，内部監査を実施します。近人情報保護マニュアルをもとに職員の教育研修を行い，秘密保持に関する誓約書を求めます。個人情報保護活動の継続的改善を図ります。</p>													
10. 環境保護の取り組み，社会貢献活動の実績	<p>【環境保護】 燃料油に水を加えてエマルジョン燃料化システム（噴霧燃焼の際に粒子状物質や窒素酸化物の生成を抑制する）を自社開発し，ドラム缶リサイクル工場，火葬炉で使用しています。</p> <p>【社会貢献】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成 25 年 関屋浜清掃</td> <td style="width: 50%;">平成 27 年 関屋浜清掃</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年 関屋浜，鳥屋野潟周辺清掃</td> <td>平成 28 年 日和浜清掃</td> </tr> </table>		平成 25 年 関屋浜清掃	平成 27 年 関屋浜清掃	平成 26 年 関屋浜，鳥屋野潟周辺清掃	平成 28 年 日和浜清掃								
平成 25 年 関屋浜清掃	平成 27 年 関屋浜清掃													
平成 26 年 関屋浜，鳥屋野潟周辺清掃	平成 28 年 日和浜清掃													